

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

# かがやく山内西の子

山内西小 HP:<http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校  
学校だより No. 24  
令和元年9月3日発行  
文責：校長 石橋佳樹

※「学校だより」はホームページからもご覧いただけます。鮮明な画像でご覧ください。

## 北部九州豪雨水害からの、一日も早い復興を願って…。

今回は、お便りの筆をとることがなかなかできませんでした。メディアが連日報道している水害のニュースを目にするたびに、今も、鉛のようなずっしりとした重い荷物を肩に背負っているような感覚と、胸を裂かれるような息苦しさがあります。

8月28日(水)未明からの、特別警報発令に伴う大雨については、県内でも特に、「我がまち」武雄市内・大町町の被害が甚大で、言葉も出ないほどでした。尊い命が奪われるとともに、濁流で家屋及び自家用車等、瞬く間に浸水してしまいました。その被害の光景は、目を覆うばかりで、今回受けた「自然の猛威」は、人々の財産と心を深く傷つけ、大きな爪痕を残す結果となってしまいました。山内西小の児童の命に関わる事故が起きなかったことがせめてもの救いです。各ご家庭からの大きな被害報告等はなかったようですが、おそらく、いろいろなお付き合いがあるご親戚やお知り合い等、被害の知らせを受けたり作業のお手伝いをされたりした方も多かったのではないのでしょうか。心からお見舞い申し上げます。

本校は、28日、29日の2日間、臨時休校となりましたが、翌日30日には元気な子どもたちの姿を見ることができ、ホッと胸をなで下ろしたところです。

当日朝、花まるタイム前の放送で、こんな話をしました。「笑顔で、当たり前に登校できて、みんなと会えて、勉強に打ち込めるということが、本当に幸せなことなのだ」とあらためて思います。しかし、今回の災害で、私たちの武雄市、すぐそばに、傷ついている人がいる。浸水した自分の家を立て直すために一生懸命がんばっている友だちや、避難所で十分な食事や水をとれずに、眠れない夜を過ごしている友だちがいる。そんな友だちに思いをはせながら、『負けるな、がんばれ、大丈夫だよ』と心の中で声援(チア)を送り、山西っ子も今日からまたがんばっていこう。」と…。

9月を迎えました。ご家庭でも、親の立場から、この当たり前の生活のありがたさを子どもたちに話していただき、変わらぬご支援をお願いします。

## ★ 夏休み宝物展 明日4日(水)まで展示しています。



夏休みの子どもたちの頑張り。多目的ホールに展示しています。お時間あればお立ち寄りください。努力の足あと、発想の豊かさを感じ取っていただければ幸いです。展示期間は、明日4日まで。平日にお越しいただくことは、難しいかと思いますが、ご案内させていただきました。